

えきねっとのフィッシングサイト 前月に比べ2倍に増加 今後は Amazon や マイナポイントの詐欺サイトにも要注意

～インターネット詐欺レポート 詐欺ウォール®による検知・収集データ～

インターネット詐欺レポートは詐欺ウォール®の検知エンジンを強化するために調査・収集しているインターネット詐欺サイトを分析したレポートになります。2024年1月度のインターネット詐欺レポートでは、えきねっとのフィッシング詐欺が増加している点を取り上げます。

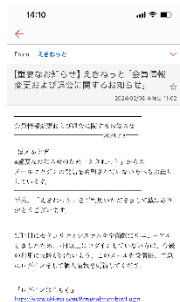
目次：

- えきねっとなが前月に比べ2倍に増加
- SoftBank や NTT docomo などキャリア系のフィッシングサイトに注意
- フィッシングサイトカテゴリ別構成比
- フィッシング詐欺被害防止のポイント
- サイトを無料診断「詐欺サイトチェッカー」
- 2024年1月 詐欺サイト検知率レポート

調査・収集したデータによる分析

■ えきねっとの詐欺サイト報告数が前月に比べ2倍に増加

1月度はえきねっとの報告数が前月に比べ2倍に増加しました。直近過去6か月間のデータから見ても最大の報告件数です。詐欺サイトへはメールなどから様々なうたい文句で誘導されます。えきねっと公式サイトでは詐欺メールに「自動退会」「利用制限の解除」「ワンタイム URL のお知らせ」などの文言で情報を入力させる手口が確認されており、「お客さまの不安を煽る文言が含まれている場合は全て偽物です。絶対に個人情報を入力しないでください」と注意喚起がされています。



えきねっとのフィッシングメール



えきねっとのフィッシングサイト

※画像はフィッシング詐欺サイトのイメージであり、本文内容とは関係ありません。

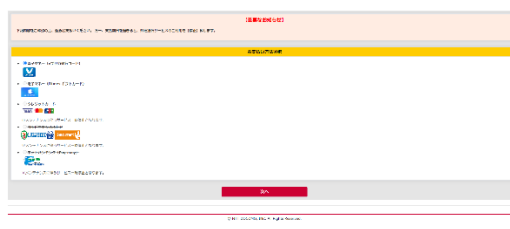
■SoftBank や NTT docomo などキャリア系のフィッシングサイトに注意

最新の情報では、2月に入り SoftBank や NTT docomo などキャリア系のフィッシングサイトが増加傾向にあります。手口としてはVプリカを購入させて、発行コード、認証番号、カード番号などを送るように指示するものが多く、NTT ドコモのフィッシング詐欺は1月と比べると約40倍以上に増加しています。

また SoftBank のフィッシングサイトも前月同様の推移を見せています。au の報告数は少ないですが、今後は携帯キャリアを狙った手口が増加する可能性もあるため注意が必要です。



SoftBank のフィッシングサイト



NTT ドコモのフィッシングサイト

※画像はフィッシング詐欺サイトのイメージであり、本文内容とは関係ありません。
































■フィッシングサイトブランドランキング

1月度はえきねっとが1位となりました。また Amazon が実数ベースで約40%増、総務省のマイナポイントのフィッシングサイトは約60%増と増加しています。また前月ランキングに比べてクレジットカード系のフィッシングサイトも増加しており、注意が必要です。

	2023年12月	割合	2024年1月	割合
1	SoftBank	18.66%	えきねっと	19.69%
2	Amazon	12.67%	Amazon	18.02%
3	三井住友カード	11.50%	総務省	11.60%
4	えきねっと	9.57%	Apple ID	11.14%
5	総務省	7.25%	SoftBank	9.56%
6	ETC利用照会サービス	6.80%	SAISON CARD	5.00%
7	Apple ID	6.62%	三井住友カード*	4.75%
8	au	3.11%	ETC利用照会サービス	3.61%
9	国税庁	2.89%	イオンカード*	3.06%
10	ヤマト運輸	2.73%	エポスカード	2.01%

■フィッシングサイトカテゴリ別構成比

1 月度は EC サイトと Web サービスカテゴリの構成比が上昇しています。EC サイトは Amazon の報告数が増加したことにより実数ベースでも増加しています。また Web サービスは、えきねっと・ETC が実数で増加した影響で構成比も増加しています。上記で取り上げた携帯キャリアは 1 月度減少していますが、最新の情報では 2 月に入り増加しています。

	2023年12月	2024年1月	
 銀行	1.00%	1.55%	
 携帯キャリア	21.97%	10.16%	
 クラウドサービス	0.00%	0.00%	
 消費者金融 キャッシング	0.00%	0.00%	
 クレジット カード	20.66%	16.75%	
 ECサイト	13.11%	19.84%	
 ポータルサイト	0.01%	0.01%	
 プロバイダー	1.70%	0.94%	
	2023年12月	2024年1月	
 官公庁	10.25%	12.09%	
 株 / 証券	0.05%	0.03%	
 SNS	0.50%	0.67%	
 仮想通貨	0.03%	0.09%	
 Webメール	0.00%	0.07%	
 Webメール ユーザー	0.00%	0.00%	
 Webサービス	30.63%	37.72%	
その他	0.09%	0.08%	

※5 ポイント以上上昇したカテゴリは黄色の矢印になります。

※5 ポイント以上減少したカテゴリは灰色の矢印になります。

■フィッシング詐欺被害防止のポイント

1. メールや SMS で案内された URL が正規の URL か確認する
メールや SMS メッセージ上のリンクはクリックせず、事前に登録しておいたブックマークやウェブ検索で正規サイトへアクセスする。または、怪しいサイトを診断する無料サービスを利用し事前に URL をチェックする
2. 個人情報やクレジットカード番号の入力を促すメール・SMS に注意する
クレジットカード会社などでは、個人情報やクレジットカード情報などについてメール・SMS での問い合わせは行っていないため、情報入力させるページに誘導するメールには細心の注意を払いましょう。

3. ログイン ID・パスワードの使い回しを控える

複数のサービスサイトで同じログイン ID・パスワードを使い回していると、フィッシング詐欺によってログイン ID・パスワードが詐取された場合、他のサービスサイトの不正利用被害に遭う可能性が高まります。被害を最小限に抑えるためにもログイン ID・パスワードの使い回しはせず、サービスごとに登録内容を変更し管理を行うようにしましょう。

4. セキュリティソフトやネット詐欺専用ソフトを導入する

犯罪者の手口は日々巧妙化しており、今まで意識してきた対策が通用しなくなる可能性があります。日々進化するネット犯罪に対抗するにはセキュリティソフトを導入することも必要です。不審なサイトにアクセスした際に注意喚起を行ってくれます。

■詐欺サイトを無料で診断「詐欺サイトチェッカー」

日々増加するインターネット詐欺、詐欺サイトかどうかをチェックできるサービス「詐欺サイトチェッカー」を提供開始しました。詐欺ウォールが独自で収集した詐欺サイトのブラックリストと各官公庁から通報のあった詐欺サイトのブラックリストを元に無料で気になるサイトをチェックします。

サイト URL:<https://checker.sagiwall.jp/>

詐欺ウォール利用者が検知したデータによる分析

■2024 年 1 月 詐欺サイト検知率レポート

詐欺ウォールとは日本人をターゲットにしたインターネット詐欺をブロックする、ネット詐欺専用セキュリティソフトです。従来の検知手法である「ブラックリスト検知」に加え、詐欺ウォール独自のネット詐欺検知エンジンである「ヒューリスティック検知」「AI 検知」のトリプルブロックで、ウイルス対策ソフトでは検知困難な巧妙な手口の詐欺サイトを検知します。

詐欺ウォールを開発・提供する BB ソフトサービスでは、公的機関などとの連携によって収集した詐欺サイト URL を利用し、定期的に詐欺サイトの検知率調査を行っています。2024 年 1 月の詐欺ウォールによる詐欺サイト検知率は 97.5%と他社と比較し高い結果となりました。

< 検知率調査概要 >

https://www.sagiwall.jp/report/about_report.html

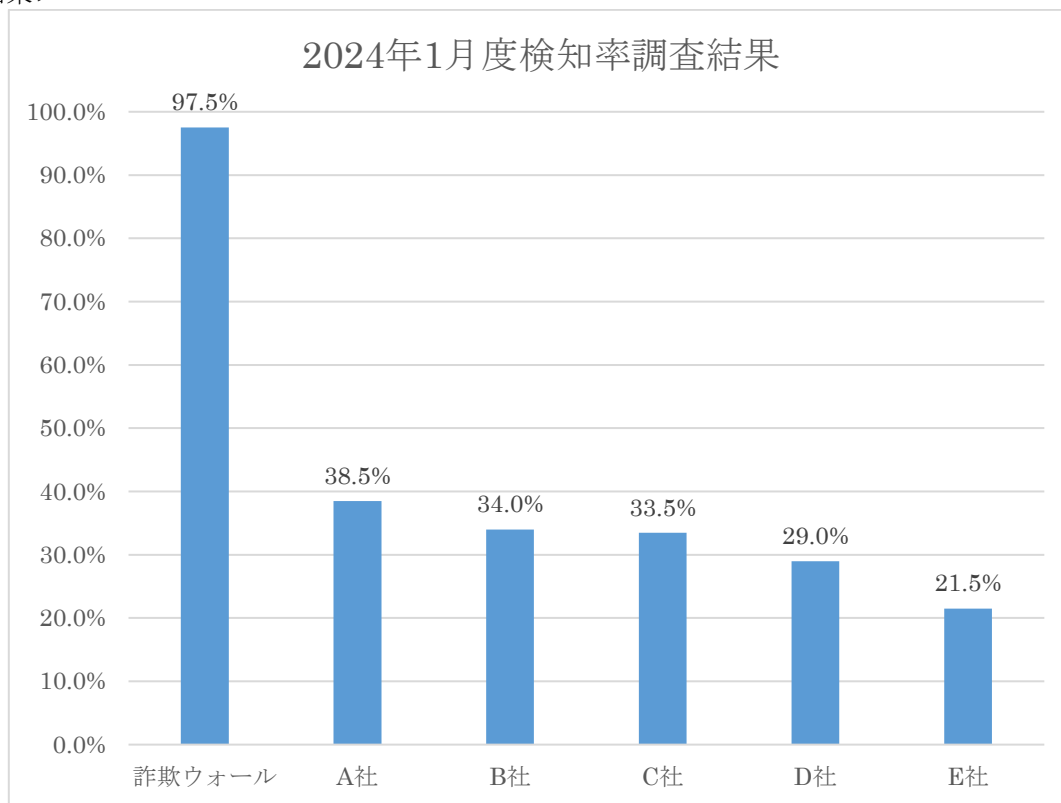
< 調査期間 >

2024 年 1 月 17 日、1 月 24 日

< 調査対象 URL >

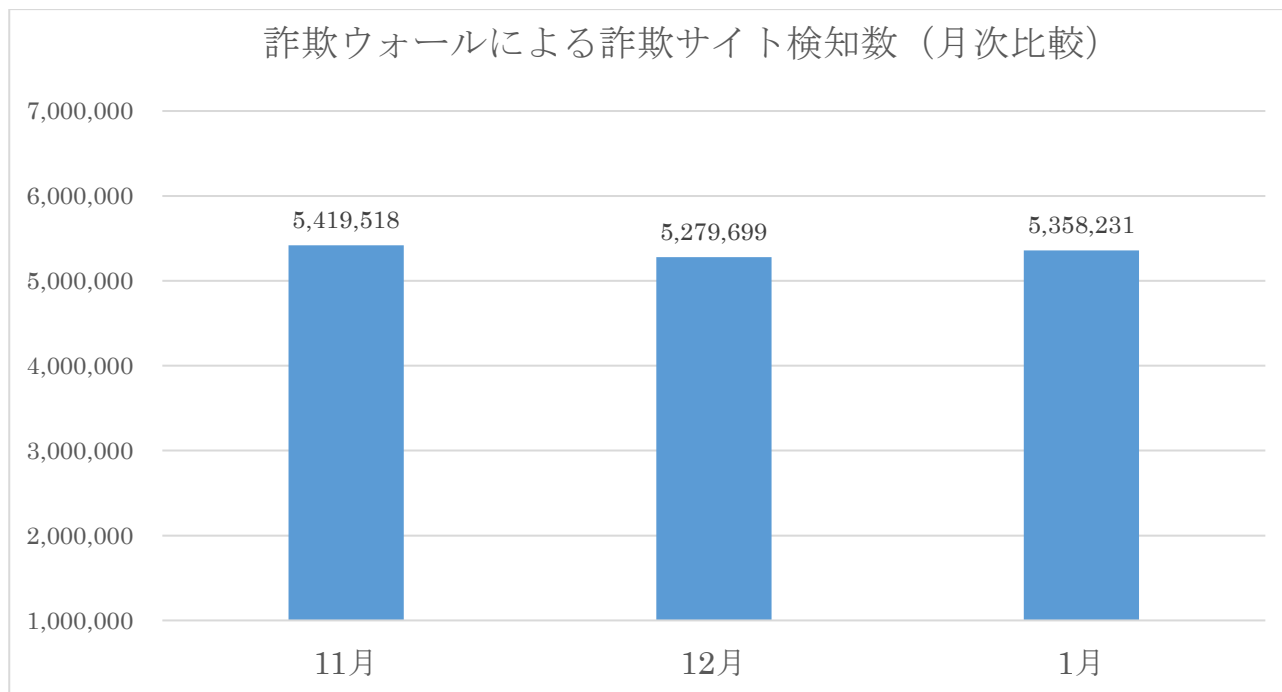
公的機関などから提供された詐欺サイト URL 計 200 件

<調査結果>



■2024 年 1 月 詐欺サイト検知数レポート

2024 年 1 月の[詐欺ウォール](#)による詐欺サイト検知数は 5,358,231 件で、2024 年 12 月と比較すると、78,532 件増加する結果となりました※。



※以下記載のアプリバージョン以上の詐欺ウォールを利用しているお客様のアクセス数値を集計
Windows 版：3.3.0 / macOS 版：3.5.0 / Android 版 1.7.0 / iOS 版 3.2.0.4

■ 1 月度詐欺ウォール利用者が遭遇している詐欺サイトの傾向

1 月度に詐欺ウォール利用者が遭遇している詐欺サイトの TOP3 が以下となります。実際に遭遇しているネット詐欺サイトと調査収集しているネット詐欺サイトでは違った傾向が見られます。

1 位 Apple ID



※画像はフィッシング詐欺サイトのイメージであり、本文内容とは関係ありません。

今月も検知ベースでは Apple は 1 位となっています。日本では iPhone ユーザーが多くのシェアを占めており、上位にランクする傾向があります。

2 位 SoftBank



※画像はフィッシング詐欺サイトのイメージであり、本文内容とは関係ありません。

SoftBank のフィッシングサイトが 2 位にランクインしています。収集ベースでも 2 月は報告数が増加しており注意が必要です。

3.位 Mastercard®



※画像はフィッシング詐欺サイトのイメージであり、本文内容とは関係ありません。

Mastercard® が 3 位にランクインしています。今まで登場しておりませんでしたが、1 月に入り検知数が急増しています。Mastercard®公式サイトでは、メールで口座や個人情報を盗むフィッシングサイトがあり、こういったメールを送ることはないとして、注意喚起がされています。

※本記事に記載の「詐欺ウォール」の対象には、「詐欺ウォール」の名称で提供する製品の利用者のみでなく、他の名称で提供している製品の利用者も含まれます。

■「詐欺ウォール® / Internet SagiWall™」について

日本人を標的とするネット詐欺サイトをブロックする、ネット詐欺専用セキュリティソフトです。ウェブブラウザでサイト閲覧中の不用意に悪意のあるサイトにアクセスした場合でも、コンテンツをリアルタイムで検査し自動的にブロックします。ウイルス対策ソフトでは検知が難しい巧妙な詐欺サイトであっても独自の AI 検知技術で高い精度で検出するため、ウイルス対策と併用することでユーザーの安全を高めます。パソコンやスマートフォンの利用に慣れていない方でも、簡単に利用でき、サイバー犯罪被害を未然に防ぐことができます。

※詐欺ウォール®は、iOS、mac OS、Windows®、Android™版を提供しています。

<詐欺ウォール® / Internet SagiWall™製品サイト URL>

<https://www.sagiwall.jp/>

■BB ソフトサービス株式会社について

ソフトバンクグループにおいて、セキュリティ製品を主軸とするソフトウェアサービスを、ISP や携帯電話会社などの通信事業者を通じて提供しています。サービス提供のみならず、フィッシング対策協議会やその他の社外団体を通して情報セキュリティに関する啓発活動にも積極的に取り組んでいます。一般消費者のサイバー犯罪被害を減らし、よりよいインターネット利用環境を全てのユーザーに提供することで社会貢献を果たしてまいります。

<会社概要>

社名： BB ソフトサービス株式会社

所在地： 東京都港区海岸 1 丁目 7 番 1 号 WeWork 東京ポートシティ竹芝

社長： 代表取締役社長 兼 CEO 草川 和哉

設立日： 2006 年 1 月 17 日

株主： SB C&S 株式会社 100%

事業内容： ブロードバンドを利用したコンシューマー・SOHO 用アプリケーションサービス、およびオリジナルアプリケーションサービスの企画・開発・販売・運営

URL： <https://www.bbss.co.jp/home.html>

<お問い合わせ先>

BBSS 広報事務局

担当：池谷、阿彦、建部

bbsspr@bbss.co.jp